

## 平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	遺骨伝達等事業			担当部局庁	社会・援護局			作成責任者	
事業開始年度	昭和26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	事業課			吉田 和郎	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	戦没者の遺骨収集の推進に関する法律(平成28年法律第12号) 厚生労働省設置法第4条第1項第104の2 厚生労働省組織令第108条 地方自治法附則第10条(旧軍関係調査事務等委託費)			関係する計画、通知等	復員業務規定(昭26) 「戦没者遺骨のDNA鑑定に関する検討会報告書」(平15.3) 「日韓定期閣僚会議」の了解事項(昭44.8)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	収容した戦没者の遺骨のDNA鑑定や遺留品調査等を実施し、身元が特定された場合は遺族へ伝達し、身元が特定できず遺族に引き渡すことのできない遺骨は千鳥ヶ淵戦没者墓苑に納骨することにより、戦没者遺族の慰藉につなげることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	海外等で収容された先の大戦における戦没者の遺骨については、遺留品調査等により身元が特定された場合に遺族へ伝達しており、平成15年度以降は遺骨から有力なDNAを抽出できるなど一定の条件を満たす場合に、希望する遺族に対しDNA鑑定を実施し、身元特定に至った場合も同様に伝達している。遺族に引き渡すことのできない遺骨は、国内で再焼骨後、千鳥ヶ淵戦没者墓苑に納骨している。また、当局保管の朝鮮半島出身旧軍人軍属の遺骨については韓国及び北朝鮮政府に返還するものであり、返還に関する基本的事項に合意している韓国政府に対して遺骨の返還に向けた協議を行っている。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	122	117	220	158	238		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		122	117	220	158	238		
	執行額		97	113	198	-			
	執行率(%)		80%	97%	90%	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		80%	97%	90%	-				
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	遺骨収集等庁費	150	211	DNA鑑定の対象について四肢骨への拡大に伴うDNA鑑定件数の増及び遺留品調査返還等事業の委託事業化に伴う増					
	遺骨収集等委託費	0	18						
	旧軍関係調査事務等委託費	3	3						
	職員旅費	2	2						
	諸謝金	1	2						
	その他	2	2						
計	158	238							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	平成29年度は、DNA鑑定の実施見込みを勘案し85件の伝達を行う。	戦没者御遺族への遺骨伝達件数	成果実績	件	68	41	41	-	-
			目標値	件	90	85	85	-	85
			達成度	%	75.6	48.2	48.2	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	戦没者遺骨の伝達状況基礎統計								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	平成29年度は、過去3年間実績の平均である2,226柱の納骨を行う。	千鳥ヶ淵戦没者墓苑への戦没者遺骨の納骨数	成果実績	柱	1,843	2,498	2,337	-	-
			目標値	柱	1,515	1,566	1,990	-	2,226
			達成度	%	121.7	159.5	117.4	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	千鳥ヶ淵戦没者墓苑納骨状況表								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	DNA鑑定件数	活動実績	件	190	136	434	-	-
		当初見込み	件	112	160	173	253	946

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	千鳥ヶ淵戦没者墓苑への戦没者遺骨の納骨数	活動実績	柱	1,843	2,498	2,337	-	-
		当初見込み	柱	1,515	1,566	1,990	2,226	2,200

単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X:遺骨伝達等事業に要した経費/Y:遺骨伝達数及び納骨数の合計	単位当たりコスト	千円	50.8	44.5	83.3	68.4	
		計算式	X/Y		97百万/1,911件	113百万/2,539件	198百万/2,378件	158百万/2,311件

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	戦傷病者・戦没者遺族等への援護、戦没者の遺骨の収集等を行うこと(Ⅶ-3)							
		施策	戦没者遺骨収集事業の推進等により、戦没者遺族を慰藉するとともに中国残留邦人等に対する自立支援等を行うこと(Ⅶ-3-2)							
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	収容した戦没者の遺骨のDNA鑑定や遺留品調査等を実施し、身元が特定された場合は遺族へ伝達し、身元が特定できず遺族に引き渡すことのできない遺骨は千鳥ヶ淵戦没者墓苑に納骨することにより戦没者遺族の慰藉につながるものである。									
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-					
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-			
	目標値	-	-	-	-	-	-			
達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										

**事業所管部局による点検・改善**

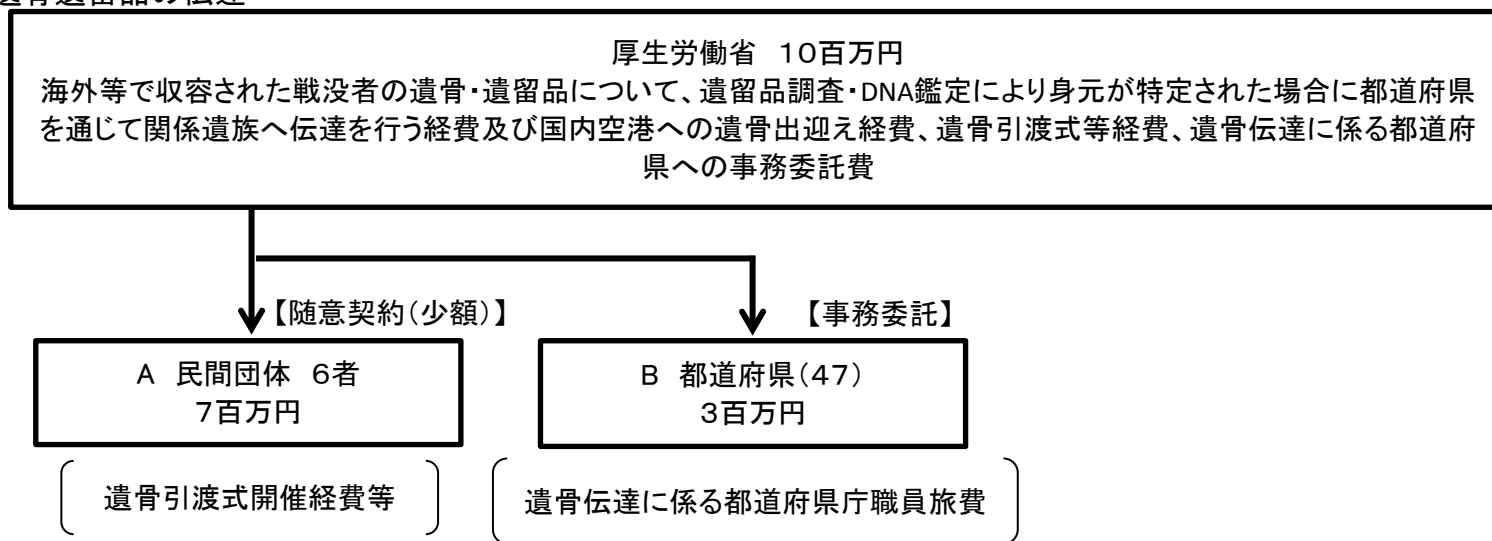
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	遺族への遺骨伝達は、国の責務として行われるものであり、遺骨の帰還を待ち望む戦没者遺族のニーズを直接に満たす取組である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	戦没者遺骨の遺族への返還は、国の責務によって実施すべきものである。また、遺族へ引き渡すことのできない遺骨は、国において千鳥ヶ淵戦没者墓苑に納骨している。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	遺族への遺骨伝達は、遺骨の帰還を待ち望む戦没者遺族を慰藉するために非常に重要な取組であり、優先度は高い。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	遺骨のDNA鑑定の専門的知識を有し、かつ慰霊事業を深く理解している業者が限られているため予算決算及び会計令に基づき随意契約を行っている。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	

事業の効率性	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	遺族へ遺骨を伝達するために必要最低限の経費を計上している。また、事業実績に基づき、必要経費の見直しを行っている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業実施にあたり必要なものだけに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	複数地域から同時期に収容された御遺骨について、引渡式を合同で実施している。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		△	遺骨伝達件数の実績が目標を下回っているが、身元特定につながる遺留品を発見できなかったことが主な要因である。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	戦没者遺骨を遺族へ返還するため、厚生労働省保管資料をはじめ旧ソ連政府等や復員者提供の名簿、埋葬図を活用し調査を行っている。また、DNA鑑定は、検討会の報告を踏まえ一定条件を満たした場合に限定して実施している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みを上回る実績がある。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	以下のとおり、遺骨情報の収集→収容→ご遺族への伝達等という一連の取組となっており、役割分担されている。 ①海外未送還遺骨情報収集事業 ↓〔国内外において遺骨の情報を収集する〕 ②遺骨収集関連事業 ↓〔①で得られた情報をもとに遺骨収容を行う〕 ③遺骨伝達等事業 〔②で収容された遺骨について、御遺族への伝達や身元未判明遺骨の千鳥ヶ淵戦没者への納骨を行う。〕		
	所管府省名	事業番号	事業名			
	厚生労働省	0711	海外未送還遺骨情報収集事業			
	厚生労働省	0712	遺骨収集関連事業			
点検・改善結果	点検結果	戦没者遺骨から採取する検体の状態により鑑定に必要なDNAの抽出の可否が左右され、かつ、身元特定につながる遺留品を発見できない場合が多いことから当初見込みを下回っている。				
	改善の方向性	29年度にはDNA鑑定の対象の拡大として、歯に加えて四肢骨も検体とする予定であることを踏まえ、必要な経費を精査し、適切に事業を実施していくこととする。				
<b>外部有識者の所見</b>						
戦没者の遺族も高齢化が進み、DNA鑑定による身元の特定は年を追って難しくなると思う。アウトカムの達成度が低下してきており、何れかの時期に当該事業を見直すべき。(増田 正志)						
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>						
事業内容の一部改善	成果実績が低調に推移している要因を分析するとともに、今後何れかの時期に事業の見直しを検討すること。					
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>						
改善年度内検討	一柱でも多くの遺骨を遺族へ返すため、平成29年4月から、歯に加えて四肢骨もDNA鑑定の対象とした。また、今年度から、広報等により、遺族に対するDNA鑑定の呼びかけ範囲を拡大することとした。これらを踏まえ、今後も引き続き、必要な経費を精査し、適切に事業を実施していくこととする。					
<b>備考</b>						
-						
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>						
平成22年度	461	平成23年度	419	平成24年度	363	
平成25年度	730	平成26年度	728	平成27年度	744	
平成28年度	711					

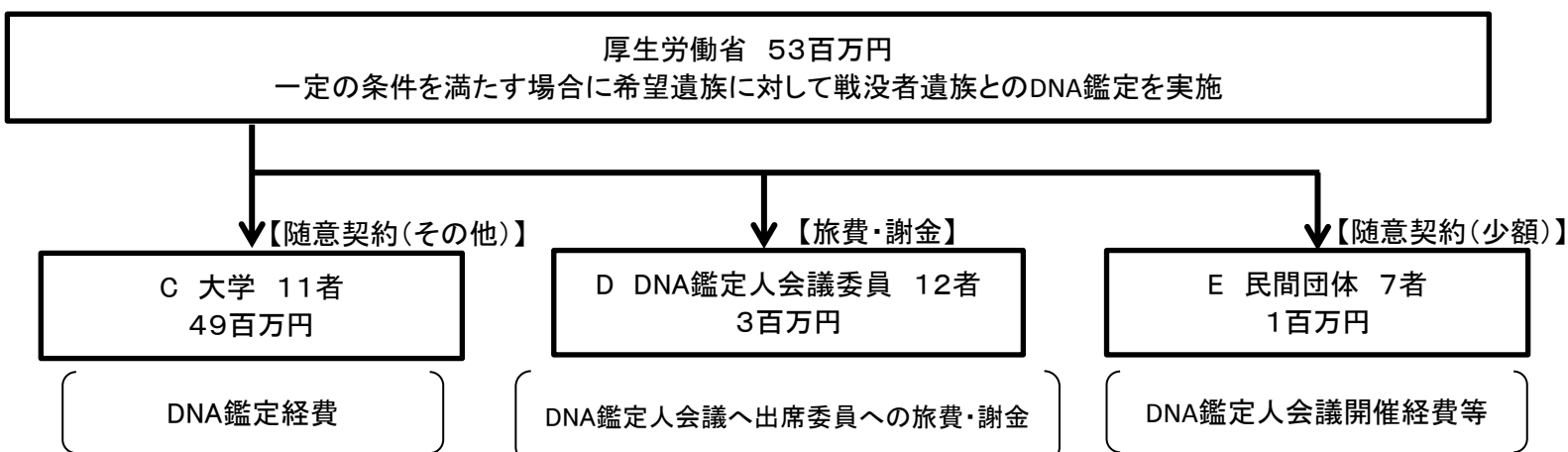
※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【平成28年度実績額】 198百万円

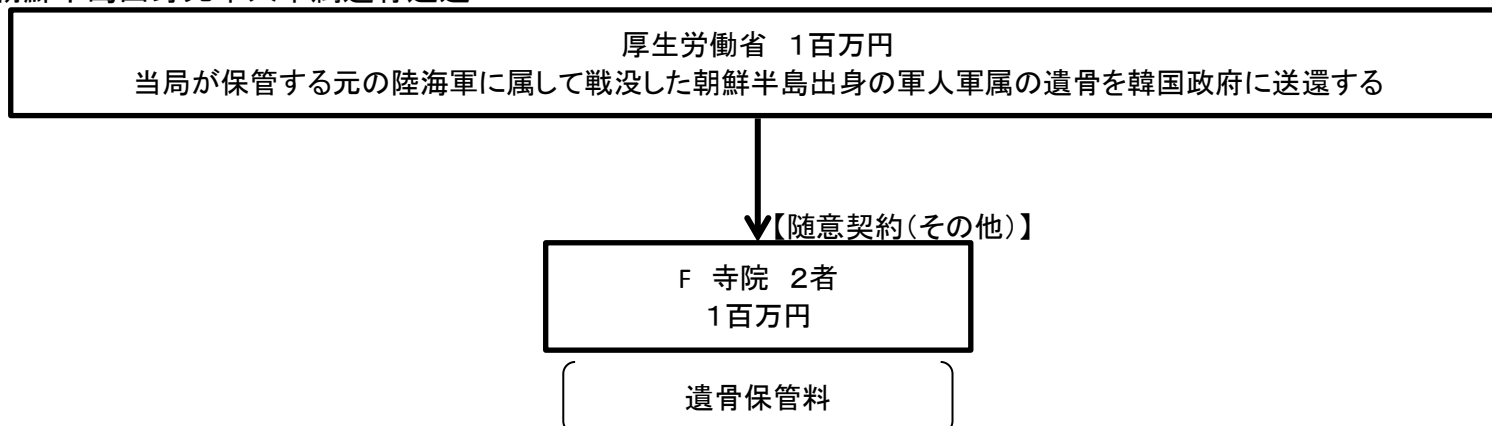
①遺骨遺留品の伝達



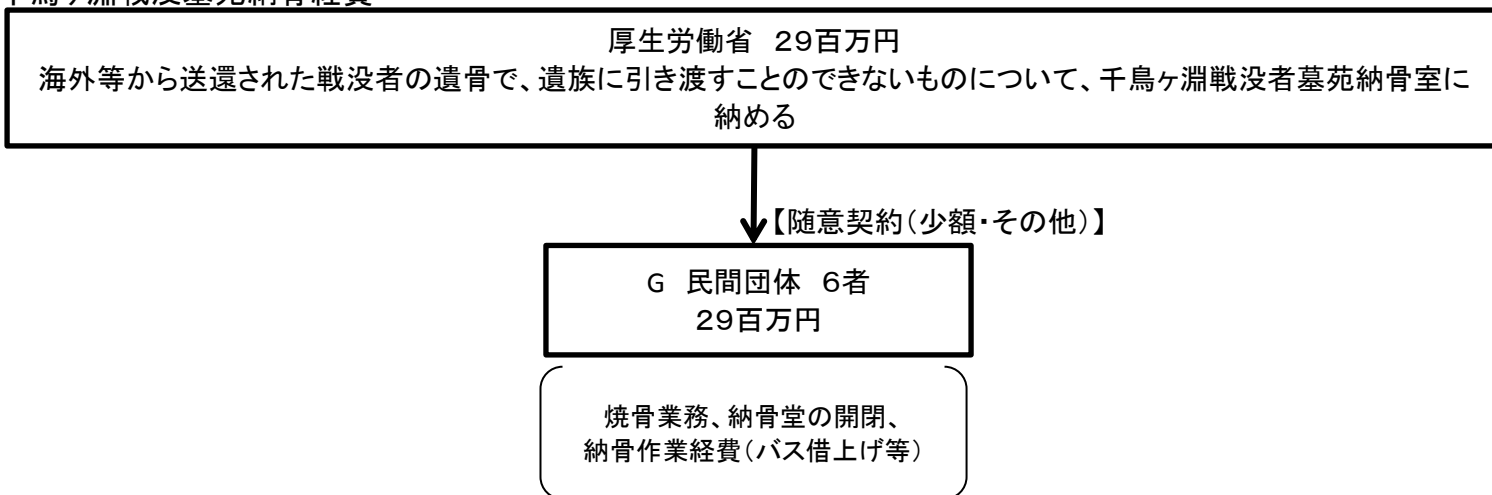
②DNA鑑定事業費



③朝鮮半島出身元軍人軍属遺骨送還



④千鳥ヶ淵戦没墓苑納骨経費



〔遺骨伝達に係る事務費 105百万円  
遺骨の伝達、DNA鑑定人会議に係る事務費、慰霊事業補助員に係る経費等〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

<b>費目・用途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.(株)ムラヤマ			B.百万円を超える支出が無いため省略		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	遺骨引渡式会場設営	5			
	計		5	計		0
	C.国立大学法人 山形大学			D.百万円を超える支出が無いため省略		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	戦没者遺骨等のDNA鑑定料	16			
	計		16	計		0
	E.百万円を超える支出が無いため			F.百万円を超える支出がないため省略		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
G.株式会社A(事務又は事業の性質上、当該事務又は事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるため非公表)			H.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
雑役務費	戦没者遺骨の焼骨経費	25				
計		25	計		0	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載				チェック		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)ムラヤマ	5010001007765	遺骨引渡式会場設営	5	随意契約 (少額)	-	100%	
2	(株)オンリースタイル	2011001047432	遺骨引渡式に係る器具等の借上	1	随意契約 (少額)	-	100%	
3	上州物産(株)	8070002002815	遺骨引渡式に係るストーブの借上等	1	随意契約 (少額)	-	100%	
4	国家公務員共済組合連合会	2010005002559	遺骨引渡式に係る遺骨仮安置室借上	0	随意契約 (少額)	-	100%	
5	(医)綜友会	8010005000813	遺骨引渡式に係る医師看護師の配置	0	随意契約 (少額)	-	100%	
6	日本赤十字社	6010405002452	遺骨引渡式に係る医師看護師の配置	0	随意契約 (少額)	-	100%	

## B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大分県	1000020440001	遺族への遺骨伝達(事務委託)	0.2	その他	-	-	
2	北海道	7000020010006	遺族への遺骨伝達(事務委託)	0.2	その他	-	-	
3	高知県	5000020390003	遺族への遺骨伝達(事務委託)	0.2	その他	-	-	
4	熊本県	7000020430005	遺族への遺骨伝達(事務委託)	0.2	その他	-	-	
5	大阪府	4000020270008	遺族への遺骨伝達(事務委託)	0.1	その他	-	-	
6	沖縄県	1000020470007	遺族への遺骨伝達(事務委託)	0.1	その他	-	-	
7	鹿児島県	8000020460001	遺族への遺骨伝達(事務委託)	0.1	その他	-	-	
8	福岡県	6000020400009	遺族への遺骨伝達(事務委託)	0.1	その他	-	-	
9	長野県	1000020200000	遺族への遺骨伝達(事務委託)	0.1	その他	-	-	
10	山口県	2000020350001	遺族への遺骨伝達(事務委託)	0.1	その他	-	-	

## C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人 山形大学	8390005002565	戦没者遺骨のDNA鑑定等	16	随意契約 (その他)	-	100%	
2	学校法人 日本大学	5010005002382	戦没者遺骨のDNA鑑定等	10	随意契約 (その他)	-	100%	
3	学校法人 大阪医科薬科大学	5120905001893	戦没者遺骨のDNA鑑定等	6	随意契約 (その他)	-	100%	
4	学校法人 神奈川歯科大学	1021005007564	戦没者遺骨のDNA鑑定等	6	随意契約 (その他)	-	100%	
5	学校法人 慈恵大学	9010405001658	戦没者遺骨のDNA鑑定等	4	随意契約 (その他)	-	100%	
6	学校法人 東海大学	1011005000371	戦没者遺骨のDNA鑑定等	2	随意契約 (その他)	-	100%	
7	国立大学法人 信州大学	3100005006723	戦没者遺骨のDNA鑑定等	2	随意契約 (その他)	-	100%	
8	国立大学法人 旭川医科大学	2450005001797	戦没者遺骨のDNA鑑定等	2	随意契約 (その他)	-	100%	
9	国立大学法人 福岡大学	4290005001267	戦没者遺骨のDNA鑑定等	1	随意契約 (その他)	-	100%	
10	国立大学法人 琉球大学	6360005001332	戦没者遺骨のDNA鑑定等	1	随意契約 (その他)	-	100%	

## D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	DNA鑑定人会議	0.7	その他	-	-	
2	個人B	-	DNA鑑定人会議	0.4	その他	-	-	
3	個人C	-	DNA鑑定人会議	0.3	その他	-	-	
4	個人D	-	DNA鑑定人会議	0.3	その他	-	-	
5	個人E	-	DNA鑑定人会議	0.2	その他	-	-	
6	個人F	-	DNA鑑定人会議	0.2	その他	-	-	
7	個人G	-	DNA鑑定人会議	0.1	その他	-	-	
8	個人H	-	DNA鑑定人会議	0.1	その他	-	-	
9	個人I	-	DNA鑑定人会議	0.1	その他	-	-	
10	個人J	-	DNA鑑定人会議	0.1	その他	-	-	

